

報告 3

令和元年度公益社団法人牛久市シルバー人材センター事業活動報告

1. 総括

令和元年度は何かと目まぐるしい変化の激しい年度でした。4月を期して平成から令和に年号が変わり、これに伴う各種行事の準備・遂行。年度後半になると景気の陰りが目立ち、10月には消費税UPに伴う一般消費の落ち込みや、大企業の設備投資弱含みに対する国の財政金融面の機動的な早期政策運営が求められている矢先、令和2年の初頭に、中国の武漢で発生したコロナウイルスがあつという間に世界に飛散し、世界保健機関（WHO）がパンデミック（感染症の世界的な大流行）と認定する大変な事態に陥ったわけであります。天災ともいえるこの事態は、日本において、また茨城県においても大きな災禍を引き起こしております。

牛久市シルバー人材センターの活動は、この災禍による会員の就業機会喪失に対する対応、一方、従来からの会員高齢化による就業会員の減少対策、また有効かつ適正な就業環境の整備等、諸課題がシルバー人材センターの急務となって迫っております。

この様な状況において、シルバー人材センターは新入会員の獲得を積極的に進めるとともに、限られた会員の中で、組織の効率化を図り、事務局体制の見直し、理事会活動の活性化、また書類・規程類の整備を行い、さらに各会員がその能力と希望に応じバランスの取れた就業機会が得られるよう適正就業に対する精一杯の配慮を行ってまいりました。

その結果、当期収入合計金額は2億376万円、支出合計金額は2億723万円と収支均衡を保つ相応の成果を挙げることが出来ましたのは当シルバー人材センターに係る会員・職員・役員すべての努力の結集の結果であります。令和元年度末現在、牛久市常住者人口は84,852人、高齢者人口（65才以上）は24,354人となり高齢化率は28.7%であり、シルバー人材センターの会員確保に対するプレッシャーも高まる一方で、高齢者を支える医療と介護の連携及び社会福祉体制がますます重要な課題となってきています。シルバー人材センターは、新たな高齢者の就業ニーズに適切に応えられるよう事業のあり方を見直し、これまで蓄積したノウハウを有効に活用して、さらに追加的収入を得るため、派遣事業等、雇用を含めた幅広い就業機会の確保・提供に携わってまいりました。次に、活動の成果を具体的な数値にて報告いたします。令和元年度の実績を平成30年度の実績と対比させて示します。

項目	平成 30 年度実績	令和元年度実績	増減率(%)
1.受注件数	2,363 件	1,374 件	△41.85
2.契約金額	188,564,087 円	174,073,356 円	△7.68
3.配分金額	152,043,530 円	136,606,198 円	△10.15
4.事務費収入	15,796,323 円	14,132,736 円	△10.53
5.派遣会員契約額	23,494,923 円	59,334,737 円	60.40
6.派遣手数料	2,713,694 円	5,359,590 円	49.36
7.登録会員数	476(男 387 女 89) 人	500(男 399 女 101) 人	5.04
8.会員入会数	53(男 37 女 16) 人	40(男 24 女 16) 人	△24.53
9.会員退会数	45(男 36 女 9) 人	16(男 12 女 4) 人	△64.44
10.就業実人員	398 人	343 人	△13.82
11.就業延人員	38,333 人日	32,217 人日	△15.95
12.就業率	83.6 %	68.6 %	△17.94

更に新公益法人下での新しい活動報告形式として、以下事業活動ごとに分類した内容で報告を致します。

2. 事業区分活動報告

<p>公 1-1 就業開拓提供事業</p>	<p>センターが受注した、発注者からの仕事の申し込みは 1,374 件でした。仕事内容の確認や会員の就業履歴、希望日程を調整しながら就業機会を会員に提供し、うち 343 人が就業しています。臨時的かつ短期的な就業又は軽易な業務への就業への報酬として、受託先から受け取った金額は、総計 174,073,356 円。内訳は会員への配分金 136,606,198 円、材料費等 23,334,422 円、センターの事務費 14,132,736 円です。その請求や配分金の計算、支払いなど付随する事務処理は事務局が滞りなく着実に実行しており、会員に対して就業機会をできるだけ多く提供するため、牛久市シルバー人材センターでは、就業開拓創出員、事務局職員や理事等により、既存取引先及び牛久市行政機関等を訪問し、受注のための活動を実施しています。事業・広報委員会においても従来行ってきた会員募集及び「仕事案内」「家庭での仕事をお手伝い」のチラシを配布したり、各種広報紙に案内文を掲載したりしています。また日刊の新聞に会員募集チラシの折り込み配布を実施、地域の集会所や公共機関への配布も行っています。さらに就業会員の増加拡大を目指し地域各行政区に向けて「会員募集キャラバン隊」と称し会員募集の巡回活動を行ってきました。就業拡大を増進させ、新たな就業形態の要望に幅広く対応するため、適正就業の促進に努めています。また社会福祉協議会との協同の下に、介護予防、日常生活総合支援事業、家庭お手伝い事業等の新規分野への参画も推進しています。独自事業としては福祉センター売店、クリーン</p>
---------------------------	--

	<p>センター内リサイクル工房の収益改善につとめ、パソコン指導教室の事業も含め独自事業全体として 16,338,092 円の実績を上げました。</p>
<p>公 1-2 調査研究事業</p>	<p>本年度は牛久市シルバー人材センターの大いなる発展に向けて、長期 6 か年計画の策定に着手しました。全体を大きく 4 部構成にし、内容は 1. 長期経営計画の基本的考え方、2. 長期経営計画の全体構成、3. 長期経営計画方向と実現への取り組み、4. 長期経営計画実施チェックシートとしました。また、前年度に引き続き就業機会の増加対策や就業の質の向上、需給のミスマッチの解消、就業環境の改善等の促進に取り組んでいます。昨今のインターネット情報社会においては、クレーム対応適否が即座に企業・団体イメージを決定づける重要な要素となっていることから、会員にその重要性を認識して貰うため、新版「会員の手引き」に“お客様への対応の重要性”としてそのダイジェスト版を盛り込み、その徹底に取り組んでいます。また新版「会員手引き」発行、新入会員用テキストの見直し、安全就業マニュアルの作成等により会員が安全かつ適正に就業を行うための作業意識の向上を図っています。公益法人におけるガバナンスの向上をめざし理事会活動をさらに活発化、充実させるため、牛久市シルバー人材センターの諸規定、全 33 規程の見直しを継続して行い、現状の実態を調査・検討の上、より一層精度の高い規程を完成させるべく努力しています。新公益法人下での事業活動においてより良い情報公開の実施手段の一環としてホームページの在り方をさらに調査研究し、その充実を目指し、改良に取り組んでいます。更に「センターからのお知らせ」欄の充実を図り閲覧者の皆様に現状のシルバー人材センターの動きがわかるようなニュースをお伝えしています。</p> <p>さらに高齢者世帯向けのお手伝い事業にも力を入れるため、社会福祉協議会、市、保健福祉部・高齢福祉課等の意見などを参考に新市場開拓実現の可能性について研究を進めています。</p>
<p>公 1-3 相談事業</p>	<p>入会を希望する高齢者のために、シルバー人材センターを開放し、センターの業務や仕組みについての就業相談にあたってきました。また入会を希望する高齢者には入会にあたっての諸手続きの手順等入会案内説明をするとともに、高齢者本人の希望、経歴、適性等を見極めていきます。入会後の新入会員に対してはシルバー人材センターの概要、活動主旨、就業の際の心構え等を説明するオリエンテーションを計画し、会の開催にあたっては、理事及び事務局員等が交代で説明・相談に対応することとし、毎月 1 回の入会説明会を定期的開催し、疑問点にはできる限りの説明を行い、就業に当たって会員がスムーズに作業できるように環境を整えております。</p>

<p>公 1-4 研修講習事業</p>	<p>新入会員がシルバー人材センターの基本理念や仕組み、就業規則などの研修（新入会員オリエンテーション）を受けることにより会員として就業した際の基本的な心構えを作り、既存会員には公益法人下でのシルバー人材センターの在り方を研修することにより現在の就業意識をさらに深め注文元に対する信頼を高めるよう努めています。</p> <p>役員においては茨城県シルバー人材センター連合会主催の役員講習会の参加へ積極的に活動してきました。安全就業推進の為、交通安全・自転車講習会などの研修会を開催し、安全就業の周知徹底に努めています。また高齢者の技能向上への取り組みを支援するため、施設管理・施設清掃スタッフ講習会、剪定作業に対する心構えの再教育、刈り払い機やチェーンソーの使い方のテーマ研修等への参加を積極的に支援するなど、技術面、安全面での向上を促進し、就業状況の安定性、就業機会の確保を目指してきました。</p>
<p>公 1-5 普及啓発事業</p>	<p>広報委員会においては、リーフレット、タウン情報誌、牛久市シルバー人材センター・ホームページ、機関誌「シルバーだよりうしく」、市報「広報うしく」等を通し、会員募集や就業機会拡大のためのPRを行うとともに新聞の朝刊に折込みチラシを依頼してPRし成果を上げました。また地元諸団体と連携して、就業会員の増加拡大を目指し地域各行政区の会員に向けて「会員募集キャラバン隊」と称し会員募集の巡回活動を行ってきました。地域イベントの参加、ボランティア、チャリティ活動等シルバー人材センターの活動状況、存在価値をPRしています。</p> <p>これにより市民へは高齢者の生きがい作りに相応しいセンターとしての存在価値を意識づけ、入会動機を高めるとともに、市民、企業、公共機関にはセンターへは仕事の発注依頼をPRし、高齢者による社会参加の機会増加の促進に努めています。牛久市議会への働きかけを密にし、市長にはシルバー人材センターの「決意と支援の要望書」を手渡し、生涯現役社会を実現する手立てなどを話し合ってきました。さらに、議会においてシルバー人材センターの存在意義をPRして頂きました。</p>

<p>公 1-6 安全就業推進事業</p>	<p>高齢者が就業するにあたっては、能力と体力に見合った仕事を安全にできるようにすることが最重要課題です。このため、事務局員は就業人員を配置するに際して仕事内容の確認や会員の入会申込書、就業履歴等を参考にし、希望日程を調整しながら就業機会を会員に提供し、安全就業の適正を図っています。安全委員会においては、機関誌「シルバーだよりうしく」を通し安全ニュースを掲載し、全会員に配付することで、安全への意識の醸成を図っています。また、安全委員会では安全パトロールを年4回、実施しています。安全パトロール直後、即座に問題事項を話し合い、作業現場における事故防止のための対策活動に取り組んでいます。また、解り易く、簡潔な安全・適性就業の指導マニュアルを作成し、作業員及び安全委員が作業に取り組む際のチェック指導書を作成しています。就業にあたっては、健康面でのチェックを行い安全を確保するために、牛久市の市民健康診断を定期的に受診するよう勧めるとともに、必要に応じてその診断結果の写しを提出してもらい、作業時の注意事項に反映させ、安全確保と健康寿命の伸長に努力しています。</p>
---------------------------	--

3. 専門委員会活動報告

総務委員会

1. 諸規程の見直し整備

- (1) 「個人情報保護に関する規程」を見直し改正するとともに「個人情報保護に関する方針」を改訂
- (2) 「高年齢者の雇用に関する法律」の改正に伴い定款を改訂

2. 会員研修の質的向上と拡充

- (1) 研修プレゼンテーションに諸活動紹介のプロローグを付加
- (2) 新入会員研修、34名が受講（4月～12月の毎月開催）

3. 地域社会へ貢献する活動の推進

- (1) 街路清掃ボランティア、累計 131 名参加
（牛久駅 122 名・ひたち野うしく駅 43 名）

4. 会員の健康寿命の伸長と生きがい作りの推進

- (1) 全会員に牛久市の特定健診パンフレットを配布して健康診断を勧める
- (2) 会員同志の交流を深めるべく懇親の会を参加者 22 名で開催

5. 会員互助会設立の調査研究

- (1) 他市町村センターの現況を調査し、公益社団法人としての互助会規程の草案を作成

安全委員会

1. 安全パトロールの実施
 - (1) 令和元年度4回（7月・10月・12月・3月）

2. 「安全・適正就業強化月間（7月）」の実施
 - (1) 「安全・適正就業強化月間の実施について」の書面を作成し会員に配布
 - (2) 安全パトロールを実施
 - (3) 作業用具の点検
 - (4) 安全就業スローガンを募集

3. 県シ連主催の安全・適正就業推進大会に参加
 - (1) 令和元年7月5日（金）県シ連主催の安全・適正就業推進大会に8名参加

4. 自転車交通安全講習会の実施
 - (1) 令和2年2月19日（木）自転車交通安全講習会を総合福祉センターにて実施

5. 安全就業スローガンを募集し、参加作品をシルバーだよりに掲載
 - (1) シルバーだより 7月号、11月号、令和2年3月に掲載

6. シルバーだより「安全委員会だより」を掲載
 - (1) 7月号 交通事故・熱中症・蜂への注意喚起
 - (2) 11月号 令和元年度上半期の事故情報
 - (3) 3月号 ハイน์リッヒの法則

事業委員会

1. 会員の増員
 - (1) 会員募集チラシ配備
市役所・生涯学習センター（中央・三日月橋・カッパの里・奥野）、図書館・エスカード事務所
 - (2) 一般紙による会員募集（新聞折り込み）
3月（北部地区2,500枚）・4月（東部地区4,300枚）
5月（中央地区3,000枚）
 - (3) 牛久市報「広報うしく」への掲載
令和元年6月1日号・9月1日号・12月1日号・令和2年3月1日号

2. 市の行事への参加

- (1) 牛久市のイベント「みんなのしあわせ見本市」へ参加
カップ箸製作と会員募集チラシ配布（1,000部を配布）

3. 地域社会に対し説明会の実施

- 10月2日 一厚西行政区（21名参加）
- 11月2日 下町行政区（31名参加）
- 12月7日 刈谷行政区（26名参加）
- 令和2年2月2日 神谷行政区（21名参加）

4. 事業の拡充

1. 「広報うしく」へリサイクルショップ及び家庭でのお手伝い事業の募集記事を掲載
7月1日号・11月1日号
2. パソコン事業（独自事業）
4月・9月・10月・令和2年1月・3月実施

広報委員会

1. 情報公開についてのアンケート調査を実施

(1) 実施期間

平成31年3月1日～令和元年6月25日

(2) 調査内容

- ① 総会についての関心度など
- ② シルバーだよりについての内容及び関心度など
- ③ ホームページについての閲覧及び関心度など

(3) 結果報告

9月にホームページに掲載

11月号シルバーだよりに特集号として掲載

(4) 今後の課題

- ① 意見、質問等を含めて、随時可能な範囲で編集・変更等を柔軟に進行中

2. 会員募集キャラバンの実施

- (1) 当センターの活動内容のパンフレットを作製してキャラバン会場で配布
- (2) 会員募集用のパンフレットを作製してキャラバン会場で配布

3. シルバーだよりを発行

- (1) 情報公開アンケートに答えるべき内容で、3回発行
(7月号、11月特集号、3月号)

4. 当センターのホームページについて

- (1) 適宜に情報を掲載

特別プロジェクト

1. 長期経営6ヶ年計画

- (1) プロジェクト会議年12回の開催
- (2) 長期経営計画書試作版完成
委員会に諮る